



学校評価特集号 よりよい高井戸第二小をめざして

～令和元年度 教育調査・学校関係者評価の結果報告～

副校長 目黒 浩志

令和元年度もあと2か月を残すのみとなりました。まとめの時期を迎え、高二小では、今年度の教育活動を振り返り、次年度、さらによりよい学校になるための準備をしているところです。

昨年11月末からこの1月にかけて、教職員対象の自己評価、児童対象のアンケート、保護者の皆様への教育調査、学校評価委員（CS委員兼務）による学校関係者評価を実施しました。ご協力いただき、ありがとうございました。

子どもを育てる家庭・学校・地域それぞれの取組がどうであったのか振り返り、よりよい学校づくりの方向性を明確にすることは、学校評価の大切な役割であるといえます。

この学校評価特集号では、令和元年度の本校の教育活動を、元年度教育調査および学校評価シート(自己評価・学校関係者評価)により振り返り、皆様からのご意見を今後の教育活動に生かす具体的な方策をお示しします。

「人が育つ学校」「昨日より今日、今日より明日輝く子」の育成を目指し、今後も引き続きご理解、ご協力いただきますよう、よろしくお願いたします。

回収率：88.3%

| | 観点 | 令和元年度 教育調査(保護者アンケート)集計結果 | 肯定率 (%) | |
|----|-----------|---|---------|-------|
| | | | 30年度 | 令和元年度 |
| 1 | 学校経営 | 子どもの学校生活は、全体として満足できるものである。 | 90.0 | 90.6 |
| 2 | 小中一貫教育 | 連携する小・中学校による小中一貫教育が進められている。 | 45.3 | 57.6 |
| 3 | 学校評価 | 学校は、教育活動に関する評価結果とそれに基づく改善策等の情報を提供している。 | 68.4 | 79.5 |
| 4 | 学級経営 | 学校では、子どもが安心・安全な学校生活を送ることができる学級づくりをしている。 | 87.0 | 87.2 |
| 5 | 学習成果の実感 | 子どもは、学校の授業を通して、分かることやできることが増えている。 | 87.5 | 89.1 |
| 6 | 学習評価 | 学校は、子どもの学習状況を適正に評価している。 | 78.5 | 78.7 |
| 7 | I C T | 学校は、ICT機器（電子黒板やデジタル教科書等）を活用した授業を行っている。 | 77.4 | 74.7 |
| 8 | 道徳教育 | 子どもは、学校生活を通して、他者と共によりよく生きるための力が育まれている。 | 84.6 | 83.5 |
| 9 | 体育・健康教育 | 子どもは学校生活を通し体力や食、生活習慣等、健康な生活を送る力が育まれている。 | 87.3 | 84.6 |
| 10 | 特別支援教育 | 学校は、子どもたちの発達に関する課題など、障害理解を深める情報を提供している。 | 51.8 | 54.7 |
| 11 | 地域と共に在る学校 | 学校は、家庭や地域と連携・協力して教育活動を行っている。 | 81.5 | 81.1 |

※ 肯定率：「とてもそう思う」「ややそう思う」「どちらともいえない」「あまり思わない」「まったく思わない」「質問の内容がよく分からない」

のうち、「とてもそう思う」と「ややそう思う」を肯定ととらえ、パーセンテージであらわしたもの。

令和元年度 学校評価（自己評価）シート

| 経営目標 | 項目 | 具体的な方策 | 反省点・改善策の把握 | | 令和2年度の方針 |
|-----------------|-------------------|--|---|-----|--|
| | | | ◎成果 | ■課題 | |
| 人権尊重の精神と豊かな心の育成 | 生いじめ指め導の不登校の根絶と | ○よさを認める共感的な指導と組織的な体制づくり ・生活指導夕会（週1回） ・特別支援夕会（週1回） ・特別支援全体会（年2回） ・定例校内委員会（月1回） ・臨時校内委員会（適宜） ・SSW、子ども家庭支援センター等関係機関との連携 | ◎定例及び臨時的の校内委員会が適切に実施できていた。 ◎支援が必要な児童の支援策を、具体的に考える場となっていた。 ◎学校全体で情報を共有し、児童の様子を把握することで、生活指導等に役立てることができた。 ■夕会は祝日や全体行事で実施できなかった際に、情報共有が遅れてしまうことがあった。 | | ○校内委員会の報告は、週1回の特別支援夕会での丁寧な報告を継続し、共通理解を図る。 ○夕会が祝日や全体行事で実施できなかった際は、週内に振替実施を行い、情報共有に遅れがないようにする。 ○学級担任も参加する拡大校内委員会を年3回実施し、学年や学級を組織的に支援する態勢を継続する。 ○関係機関との連携を保ち、各機関の協力を得ながら児童の成長を見守っていく。 ○児童への個別の支援を充実させるため、保護者との連携をより充実させる。 |
| | き明かるうい学校挨拶の行 | ・大人が率先して挨拶する ・看護当番の活用 ・たてわりあいさつ運動 ・代表委員会あいさつ運動 | ◎大人が率先して挨拶できた。 ◎看護当番が昇降口で登校を見守ることが定着した。 ◎代表委員会とたてわりの「あいさつ運動」の効果で、朝のあいさつが増えた。 ■あいさつ運動の担当教員の勤務時間が超過勤務となってしまう。 | | ○大人が率先して行うことを継続する。 ○たてわりあいさつ運動は効果的だったため、年2回実施する。実施時期は、学校行事や学年行事等のスケジュールを考慮して決定する。 ○担当教員の勤務時間については、超過勤務とならないように配慮する。 |
| | る豊かな心の道徳教育 | ・週1回の計画的な道徳の実施 ・自己有用感や自己肯定感を高めることを大切にした指導 ・道徳授業地区公開講座 | ◎夏季休業中に講師を交えた指導案検討会があり、計画的に取り組めたのがよかった。 ◎授業公開では、内容項目を「いのち」に関わるものに広げたため、児童の実態に合った授業づくりができた。 ■6月だったため、1年生には3時間目に集中力を維持するのが難しかった。 | | ○夏季休業中に講師を招いて、道徳の研修会、指導案検討を行う。 ○道徳授業公開では、引き続き「いのち」をテーマにした授業を行う。 ○来年度は、道徳授業地区公開講座を3月に実施する。 |
| | 環を生境実命の感の整て大備き切るさ | ・教材園の活用 ・ピオトープの活用 | ○ピオトープが整備された後、手入れも行き届き以前よりきれいになった。 ○生活科、理科の年間指導計画に組み込み、活用法を明示した。 ■環境委員会が管理をしたが負担があった。もっと学習に活用できるとよい。 | | ○委員会活動としてできる範囲で管理を行っていく。 ○水中生物を中心に、様々な生き物がいるので観察に活用する。 ○ピオトープの周りに植栽されている木も観察に活用する。 |

| 経営目標 | 項目 | 具体的な方策 | 反省点・改善策の把握 | | 令和2年度の方針 |
|-------------|--------------|--|---|-----|---|
| | | | ◎成果 | ■課題 | |
| 確かな学力と体力の定着 | 学基習本規的律生生活徹底 | ・「たかにハンドブック」の活用 ・学習規律の統一 ・大切なすいみん講演会 | ◎「たかにハンドブック」は、異動してきた教員や転入児童もルールが周知しやすくてよい。 ◎学習規律の徹底について意識して取り組めた。 ■放課後、子どもだけで忘れ物を取りにくる児童がいる。統一のきまりについては継続的に呼びかけていく。 | | ○「たかにハンドブック」は来年度も継続して作成する。4月中の配布を目指して、今年度中に作成を行う。 ○授業中の返事や挙手、規律などの基本ルールは、発達段階なども踏まえながら統一していく。 ○放課後、学校に忘れ物を取りにくる際のきまりなど、保護者にも協力いただきたい内容については、4月の保護者会で周知する。 |
| | 読書活動の推進 | ・学校司書の活用 ・学校図書館経営計画・図書館全体計画の活用 | ◎読書旬間の取組がよく、ピンゴなどで児童がいろいろな分類の本を読むきっかけとなった。 ◎学校司書がすぐに単元に関する図書資料を集めてくれ、学習が充実した。 ◎読み聞かせが、時間もちょうどよく、選本もとてもよい。児童も楽しみにしているので続けてほしい。 ◎保護者による団体貸出はありがたい。児童が読みたくなる本が選ばれているので続けてほしい。 ■読書旬間の時期は、「朝の活動」の時間に読書や読み聞かせができるような設定を継続してほしい。 | | ○来年度も学校司書と担任が連携して、日々の読書活動の推進を図る。 ○読み聞かせボランティアについては、継続してお願いする。 ○広い視野で選んだ団体貸出し本が学級にあることは効果的なので、保護者による選本を引き続きお願いする。 ○読書量を増やす「多読賞」や、様々な分野の本に親しむ「読書ピンゴ」等の取組は年間を通してすすめていく。 ○来年度の学校行事等の計画に合わせて、読書旬間の時期を工夫して設定する。 |
| | 学習習慣の確立 | ・家庭との協力 ・低中学年までに学習習慣を確立 | ◎低学年は、ドリルの宿題を家庭で丸つけしてもらうことで、学習の定着状況を把握していただけたのでよかった。 ◎学級での指導と、家庭との連携で、家庭学習の習慣がつくよう取り組むことができた。 ■家庭学習が定着していない児童の保護者には、継続して連携を呼びかけていく。 | | ○家庭と連携して児童への指導を、継続して行う。 ○1学期の保護者会で、宿題への協力や、「たかにハンドブック」を使った持ち物のお願いについて、趣旨や内容を理解していただき、家庭との連携をより強めていく。 ○学年だより、学級だより等で学習習慣の確立への理解を呼びかけていく。 |

令和元年度 学校評価（自己評価）シート

| 経営目標 | 項目 | 具体的な方策 | 反省点・改善策の把握 | | 令和2年度の方針 |
|-------------|----|--|--|---|----------|
| | | | ◎成果 | ■課題 | |
| 確かな学力と体力の定着 | み | <ul style="list-style-type: none"> 「体育科年間計画」の活用 体育授業改善の普遍化 運動の日常化実践 ミニ研修会 長縄、短縄の取組 マラソン旬間 体力テスト 生活指導と関連させた指導 | ◎長縄は練習の時期やルールを明確にした点と、グランプリの学級目標をクラス新記録に統一した点がよかった。 ◎体力テストは、保護者のお手伝いにより、スムーズに進めることができた。 ■長縄グランプリは、計測している時間は5分×2回なので、運営を工夫してコンパクトに実施した方がよい。 | ○長縄グランプリは回数を競い合うのではなく、体力向上と学級づくりの目的で取り組ませることを継続する。 ○長縄グランプリは、次年度も土曜授業として開催する。時間や運営は、部会を中心に検討していく。 ○マラソン旬間や短縄の取組も、全校実施の雰囲気が出てきてよくなっている。次年度も継続する。 ○体力テストの実施にあたっては、引き続き保護者に協力を依頼する。 | |
| | 進 | <ul style="list-style-type: none"> 西宮中を核とした3校での取組 Q-Uアンケート（学校生活満足度調査）の実施 | ◎小中の教員が授業を見合うのはよい。教科指導面で、さらに連携を深めたい。 ◎Q-Uにより、児童の学校生活での満足度を客観的に知れるのでよい。 ◎Q-U結果で、学級満足群が増えた。 ■Q-U結果を1学期から生かしたい。 | ○学びの構造転換を踏まえた、小中9年間の「つながり」と「生かし合い」を目指し、西宮中を核とした3校での取組を継続していく。 ○Q-Uの読み取り方の研修を夏季研修に入れ、今後もQ-Uの取組を継続する。 ○Q-Uの実施時期をやや早め、早期に結果を入手する。 | |

| 経営目標 | 項目 | 具体的な方策 | 反省点・改善策の把握 | | 令和2年度の方針 |
|-----------|----|--|--|---|----------|
| | | | ◎成果 | ■課題 | |
| 教師の授業力の向上 | の | <ul style="list-style-type: none"> 前週までに作成 ねらい、中心活動、安全配慮事項などを適宜記入する | ◎学年会で進度と内容を確認しながら、期日までに作成することができた。 ■指導計画に沿って授業を行い、時期に偏りが出ないように時数管理が必要。 | ○学年主任を中心に、学年で連携した作成を継続する。 ○「安全に関すること」については、週案への記入を継続し、指導を徹底する。 ○授業時数は、月末にチェックを行うことを継続する。 | |
| | ン | <ul style="list-style-type: none"> 学力テスト（国、都、区）の結果分析を生かした授業改善推進プランの作成 学力向上校内研修会の実施 | ◎算数の分析結果を少人数コース編成に活用することができた。 ◎学力向上校内研修会で講師によるデータ分析のアドバイスが参考になった。 ◎夏季休業中に行うことで、時間をかけて取り組むことができた。 | ○次年度も夏季休業前半に学力向上校内研修会を行い、学校・学年・学級の学力の状況を分析する。 ○学力テストの分析結果を、算数のコース編成や授業改善推進プラン作成に活用する。 ○どの子も伸びる授業改善をめざす。 | |
| | 究 | <ul style="list-style-type: none"> 区の研究指定校として国語科授業改善の取組 | ◎「話す・聞く」の領域に絞ったことで、課題や方策が明確になり、校内全体で授業改善を図ることができた。 | ○領域を「話す・聞く」に限定せず、初年度に培った「対話の力」を生かした国語科の校内研究に取り組む。学びの構造転換を踏まえた授業改善を探究する。 | |
| | 同 | <ul style="list-style-type: none"> お互いの授業を見合って学ぶ 年3本以上、他の授業を参観 授業観察の機会活用 夏季休業中の外国語の指導案の検討会実施 | ◎校内研究を通して低中高のブロック内で授業を見合うことができた。 ◎夏季休業中の外国語研修は、実際の授業にとっても役立つものだった。 ■授業観察の機会に、より多くの教員が他の先生の授業を参観できるとよい。 | ○授業を見合う雰囲気を大切にし、参観用の授業をホワイトボードに示すなど、見合える環境を整えていく。 ○授業観察の指導案は、校務システムの閲覧で共有する。校内研以外で、年3本以上授業を見合い研鑽する。 ○教員が主体的に授業力を高められるよう、ミニ研修会や自主研修会を継続する。 | |

| 経営目標 | 項目 | 具体的な方策 | 反省点・改善策の把握 | | 令和2年度の方針 |
|-----------|----|---|---|--|----------|
| | | | ◎成果 | ■課題 | |
| 開かれた学校づくり | 針 | <ul style="list-style-type: none"> 4月の保護者会前に学校経営方針の説明、周知 年度末に教育活動の報告（3月の保護者会前に実施） 学校評価の結果に基づいた改善 | ◎年度始めの保護者会前に、学校経営方針や全校共通のお知らせをお願いを周知することができて有効だった。 ◎(■)教育調査で肯定率の低い項目(小中一貫等)の手立てや周知を図れた。 | ○次年度も4月保護者会前に学校経営方針説明会、3月保護者会前に教育活動報告会を行う。 ○教育調査で肯定率に課題がある項目について、引き続き取組を継続する。 | |
| | ク | <ul style="list-style-type: none"> 学校運営協議会の定期的な開催 地域運営学校の利点を生かした学校経営 | ◎実施回数を年8回から年9回に増やし、各学期に3回開催できるようにした。教育活動の計画や状況を、定期的に報告したり、助言いただいたりできた。 ◎学校運営協議会開催後に学校運営協議会だよりを発行できたことで、CSの活動について周知することができた。 | ○年度当初に年間計画を立て、見直しをもって充実した話し合いがもてるようにする。 ○「働き方改革」「学校脚卸」など新しい取組に関する意見交換の実施。 ○次年度も年9回、各学期に3回ずつ学校運営協議会を開催する。 | |
| | 学 | <ul style="list-style-type: none"> 授業支援（キャリア教育等） 学習支援（学習サポーター等） 放課後活動（学び広場等） 土曜日学校、ふれあい夢広場 読書活動支援（読み聞かせ等） 環境整備（図書室整備等） 草花の植付け（環境委サポート） 震災救援所訓練 体力テスト 地域班集団下校 水泳見守り隊 児童預かり たんぼほの会 P T A行事、学年行事 広報活動 夏季ラジオ体操、地域のゴミ拾い 泊まるう会、地域パトロール（親児の会主催） 120周年記念行事 | ◎キャリア教育や国際理解教育（エンジェルさんの話）など、授業支援で大変お世話になった。 ◎学び広場は個別指導が児童の意欲と自信につながっているため、ありがたい。 ◎学習サポーターには大変助けられている。夏季パワーアップ教室にもたくさん入ってくださり、ありがたい。 ◎体力テスト、震災救援所訓練等に多数の保護者の方にお手伝いいただきスムーズに進めることができた。 ◎地域班集団下校を「4月と1月」に変更した。2回目の集団下校を1月にすることで、4月に組織した地域班を活用した集団下校ができるようになった。 ◎開校120周年の実行委員会が立ち上がり、記念行事の検討を開始した。10月に向けて、協力と連携を深めていく。 | ○学習サポーターの体制や、キャリア教育の実施など、学校支援本部活動は幅広く、本当に助けられている。高2の教育活動を充実させ、子どもたちにとって、よりよい授業を行うためにも、来年度も協力体制を維持し、継続していただきたい。 ○「学び広場」「ふれあい夢広場」については、大変よい取組であるので保護者への周知をさらに進めていく。 ○次年度も12月の土曜授業で震災救援所訓練を実施し、保護者・地域との連携を深めていく。 ○読書活動支援、体力調査の測定補助、地域班活動、広報活動、夏季ラジオ体操、草花の植付け、P T A行事、学年行事、水泳見守り隊、たんぼほの会活動、親児の会活動も、杉並区が目指す「家庭・地域・学校のかかわりとつながりを重視した教育の実施」の観点から、それぞれがとも大切な取組と考える。是非継続していただきたい。 ○10月の開校120周年にむけて、実行委員会と協力し、記念事業をよりよい取組へとしていく。 | |

「教育調査」の集計結果と教育活動の報告

今年度の杉並区教育調査は、区内共通の11の設問について、保護者の皆様に児童数配布で学校評価のアンケートをお願いしました。回答率は88.0%。数字の高さから、保護者の学校教育への関心の高さがうかがえ、日常の教育活動へのご理解、ご協力に感謝いたします。

肯定率が高かった項目【85%以上の数値について、肯定率が高い項目としました。】は、『学校生活に満足90.6%(90.0)』『学習成果の実感89.1%(87.4)』『安心・安全な学級経営87.2%(87.0)』でした。()内の数字は30年度のもです。

肯定率が低かった項目【75%未満の数値について、肯定率が低い項目としました。】は『特別支援教育54.7%(51.9)』『小中一貫教育57.6%(45.2)』『ICTの活用74.7%(77.3)』という結果でした。以上の項目につきましては、本校の課題ととらえ、以下、経営の重点と関連づけながら、ご説明いたします。

年度当初お示ししたとおり、4つの大きな学校経営目標を掲げ、取り組んでまいりました。目標ごとに取組状況と来年度に向けての課題をお示しします。

1 人権尊重の精神と豊かな心の育成

高井戸第二小学校では、「互いのよさを認め合い高め合う学級、学校づくり」を目指しています。いじめ・不登校のない学校をめざし、一人一人がかげがえのない存在として尊重されることを児童

一人一人にしっかり根付かせたいと考えています。特別支援教育については、昨年度肯定率が51.

8%と低かったのですが、今年度9月の道徳授業地区公開講座で森山徹先生をお呼びして「つながり

を育てる子どもの心」を演題とし、特別支援教育についての講演会を実施できたことで、肯定率が54.7%に上がりました。今後も講演会に限らず、今年度から行っている3年生と久我山学級の児童との交流会等を通して、特別支援教育についての理解を深めていきたいと考えています。

具体的な取組は以下の通りです。

(1) 一人一人をしっかり見つめる目を学校全体で強化し、組織的に対応する

① 年2回の特別支援全体会や月1回の校内委員会、週3回の職員夕会の実施

対応すべき状況があった場合には、担任一人で抱えることなく、校内の生活指導や教育相談、特別支援の組織を活用し、組織的な対応を心がけてきました。職員全体で対応しようという意識が高まっていることを実感しています。特に校内委員会は、学校生活の中で「困り感」をもっている児童に学校が組織体としてどう働きかけていくか、検討し、対応してきました。今後は、保護者の皆様との連携をさらに深めるために個人面談をより充実させていきます。

② 特別支援教室の巡回指導教員を講師とした研修会の実施

児童への適切な言葉掛けや支援のあり方について校内研修の機会を実施し、巡回指導教員から助言を受け、皆で考えることができました。教員の対応力の向上がねらいです。

(2) 関係専門機関と連携し、迅速な解決を図る

学校だけで解決できないケースについては、子ども家庭支援センターや済美教育センター、学童クラブ、近隣校、児童相談所、民生児童委員等と連携を密にして、保護者と協力し解決に向けた努力をしてきました。

いじめにつながるような言動など、気になることがありましたら、具体的に担任までご連絡ください。保護者の皆様と連携し、指導を徹底していきます。

また、お子様のことでの相談については、担任や校長、副校長だけでなく、専門の知識をもったスクールカウンセラー（臨床心理士）に相談することができます。主に火曜日が出勤日です。留守番電話機能付きの直通電話もあります。予約の上、ご遠慮なく活用してください。

今年度は、9月に特別支援学級（久我山学級）で、就学指導相談係の南俊彦先生を講師として「将来の自立を見据えた特別支援」を演題に保護者を対象に講演会を開くことができました。今後も以上のような講演会を実施していきます。

2 確かな学力と体力の定着

学力については、学校だより10月号で、令和元年度の国・都・区の学力調査の結果についてご報告させていただきました。国(6年)・都(5年)・区(3・4・5・6年)の調査ではいずれも平均正答率を上回る結果となりました。杉並区の「特定の課題に対する調査」(現3～6年)では、以下の表のようになりました。

杉並区 特定の課題に対する調査
～区の平均点との比較～ (数字は区の平均点との違い)

| | 3年生 | 4年生 | 5年生 | 6年生 |
|----|------|------|------|------|
| 国語 | +8.1 | +3.7 | +6.6 | +2.3 |
| 算数 | +2.8 | +2.0 | +3.9 | +3.2 |
| 理科 | | +2.0 | +4.0 | +1.0 |

すべての項目で、杉並区の平均を上回っており、区の中間的な位置より若干上位にあると思われます。しかし、誤答について分析すると、国語ではどの学年も「話すこと、聞くこと」、算数では、文章問題や図形問題を苦手とする児童が若干いるという傾向がみられます。

高二小の児童が予測不能な時代をたくましく生き抜く力を育むために、今年度は、国語科を校内研究教科とし、「主体的・対話的で深い学び」の視点からの学習過程の改善を図り、対話を通して他者と学び合う活動を取り入れてきました。また、確かな学力を定着させるために、一人一人の学力の実態に応じた指導を徹底し、特に算数では習熟度別少人数指導が効果を発揮しているととらえ、「学びのこし」のある児童も、算数の得意な児童も共に、学力の伸長を目指しています。次年度も学力中位の子どもたちの思考力・判断力・表現力を伸ばし、上位に引き上げることを課題とし、学力向上に取り組んでまいります。

今年度、全校体制で学力向上のために取り組んできたのは以下の5点です。次年度も一人一人の学力をしっかりとつけるために、さらに力を入れて取り組んでまいります。

(1) 学習規律(=見えない学力)「たかにハンドブック」の徹底

児童に確かな学力をつけることは、私たち学校の責務です。学力向上のために、「見えない学力」をしっかりとつけていくことを、保護者の皆様にもお願いします。

「見えない学力」とは、「学力」を支えるもの、具体的には、①「早寝早起き朝ごはん」で体調を整える。(9時までには寝ましょう)②学習用具をきちんと用意する。(学習への心構え)③よい姿勢で相手を見て話を聴く。④相手に分かるように話す。⑤本をたくさん読む。⑥家庭学習の習慣を身に付ける。などです。高二小ならどの学級でも守るのが当たり前という学習規律を「たかにハンドブック」で確認し、全校体制で取り組んでまいりました。現在、よりよいものとするため、見直しをしています。特に筆箱や持ち物等について徹底していきます。体育の体育帽子は、熱中症予防の観点から昨年度から「つばあり」に変更させていただいています。買い替えの時には「つばあり」をご用意いただきますよう、お願いいたします。

(2) 学年に応じた読書への取組

豊富な読書量は確かな学力を培うことから、読書活動への取組を進めていきます。本校では学校図書や読み聞かせボランティアによる読み聞かせ活動が盛んです。また、学級文庫（宮前図書館団体貸し出し本）の選定を、保護者の皆様がしてくださっています。どちらも、担任が一人で行うと、内容等に偏りが出てしまうこともあり、大変ありがたいご支援です。今後も、どうぞよろしく願いいたします。児童には学校図書館だけでなく宮前図書館の利用も進めているところです。さらに昨年度から年2回の読書旬間を実施し、「給食コラボ」など新しい取組を通しての読書活動を推進することができました。また、各学年で1年生は30冊、2年生は50冊、3年生は3000ページ、4年生は4000ページ、5年生は5000ページ、6年生は6000ページ、久我山学級は40冊を1年間の読書目標として取り組み、全校朝会で読書目標を達成した児童に多読賞の表彰を行いました。さらに、低・中・高別の「たかにおすすめ本」として低学年50冊、中学年60冊、高学年80冊を選定しています。子どものうちによみたい本ばかりです。次年度もこれらの取組をすすめていきます。

(3) 家庭学習の習慣の定着

日々の授業で学んだ、つまずきやすい内容を繰り返し反復して学ぶことは、確かな学力をはぐくむために重要です。小学校低・中学年までに学習習慣を確立できるよう、次年度もご家庭の協力を得て、身につけさせていきます。

(4) 体力向上への取組

次に体力の育成についてです。

本校では、今年度も全校で「整列・行進等（4月）」「長縄跳び（10月）」（長縄グランプリ in 高二）「短縄跳び（11月）」に取り組んできました。2月には「マラソン【持久走】」に取り組めます。

また、体カテストに際し、多くの皆様に計測のお手伝いをいただき、スムーズに測定を進行することができました。ご協力いただきました保護者の皆様、ありがとうございました。来年度も体カテストに際し、計測のお手伝いをしていただけるとありがたいです。次年度も調査結果を踏まえた授業改善をしたり、外遊びがしたくなるような場の設定や遊びの多様化等、運動遊びの日常化を進めたりすることで、児童の体力向上に取り組んでいきたいと考えています。

子どもの体力向上のためには、子どもの生活の中に、楽しく外遊びをする時間を少しでも長くつくることも肝要であると考えます。

各ご家庭では、テレビやゲームの時間を見直し、外で元気に遊ぶよう働きかけていただくようお願いいたします。今年度も杉並区主催の「すぎなみウェルネスDAY2019 長縄グランプリ」に多数の児童が参加してくれました。引率して下さった保護者の皆様ありがとうございました。今後も児童の運動の日常化について学校・保護者で連携し、たくましい児童の育成に努めていきたいと思います。

(5) 小中一貫教育の推進

小中一貫教育の推進については、自分のまちに誇りをもち、未来を担うしっかりした「生きる力」をもった人間を9年間の義務教育で育てることを使命とし、西宮中学校を核にして本校と松庵小学校の三校で「学びをつなげ、切れ目のない教育を進める」ことを目標に授業参観や協議会を通して、相互理解を深め、協力協働して子どもたちの育成を進めてきました。教育調査のアンケート結果では、『小中一貫教育57.6%(45.3%)』と昨年度も肯定率が低い数値でしたが、今年度は本校が幹事校であり、小中一貫の日の取組を「小中一貫だより」を発行したことで、昨年度に比べると肯定率が12%

上がりました。今後も三校での取組を継続し、小中一貫教育の内容が深めていきます。

3 教員の授業力の向上

「学校は、人が育つところ」、児童と同様に教員一人一人も、教えることのプロフェッショナルとして育っていく場を目指します。1時間1時間の授業がよくわかり楽しいことは、学校が一番力を入れなければならないことです。教育調査のアンケートでは、昨年度に引き続き、教員の授業力向上に関わる3つの項目（『学校生活に満足90.6%（90.0%）』『学習成果の実感89.1%（87.5%）』『安心・安全な学級経営87.2%（87.0%）』）でプラスの評価をいただきました。次年度も、長期休業中の学力向上の校内研修会を通して授業改善プランを作成し、児童の実態をしっかりと把握し、よく分かる授業を目指していきます。また、今年度の校内研究「主体的・対話的で深い学び」の視点からの学習過程の改善を図り、対話を通して他者と学び合う活動を取り入れ、児童が学級内で互いを認めながら、より一層、自己の考えを広げ、深められるような学習指導に力を入れてまいります。そして、学びの個別化と探求化、それに協同化を融合する学びである「学びの構造転換」についても研究を深めてまいります。

教育調査の保護者のアンケート『教材教具（ICT）の活用74.7%（77.4%）』は、昨年度に比べ低い評価でしたが、児童のアンケートでは、29年度89.6%、30年度92.6%、今年度93.2%と着実に上がってきています。今後も土曜授業等にICTを活用した授業を参観できる機会をもつことやICT以外の教材教具の整備にも引き続き力を入れてまいります。年末には、各クラスのプロジェクターの交換をしたので、3学期からは投影した画面が明るくなり、見やすくなりました。今後も保護者の皆様にも学校の取組をご理解いただき、学校公開や授業参観、各行事の際には、多数ご参観ください。

4 開かれた学校づくり

今年度の教育調査の結果『学校評価の情報提供は、79.5%（68.4%）』で昨年度より11.2ポイント肯定率が上がりました。今後も学力調査や体力調査・学校評価について学校だよりで特集を組み、迅速に情報を発信していきます。

高井戸第二小は、多くの保護者・地域の皆様に支えられております。

学校支援本部・保護者・地域の皆様には、令和元年度も多大なるご支援をいただきました。

その1 授業支援（キャリア教育等・学年行事）

その2 学習支援（学習サポーター・水泳見守り隊）

その3 夏季パワーアップ教室の支援

その4 放課後活動（学び広場）

その5 土曜日学校・ふれあい夢広場

その6 読書活動支援（読み聞かせ等）

その7 夏季ラジオ体操と地域のゴミ拾い

その8 環境整備（図書室整備等）

その9 草花の植え付け（環境委員会のサポート）

その10 広報活動

その11 防災教育支援（震災救援所設立訓練等）

その12 安全教育支援（地域班集団下校・長期休業中のパトロール等）

その13 体力調査のお手伝い

その14 地域パトロール（親児の会主催）

この他にも、児童預かり（たんぼぼの会）やPTAの学年行事として支援をしていただいている授

業もあり、紙面の都合で、各ご支援の内容について詳しくお伝えすることはできませんが、高井戸第二小の教育活動は、学校支援本部・保護者・地域の皆様に支えられ成り立っています。心よりお礼申し上げます。

ここまで多岐にわたりましたが、教育評価にからめ、令和元年度 高井戸第二小学校の教育活動の報告と次年度に向けた改善策等について述べさせていただきました。

ご理解いただき、今後もよりよい学校づくりにご協力ください。

なお、以上につきましては、教育活動報告会において校長よりお話をさせていただきます。

下記の日程で行いますので、ご都合のよい会へのご出席をよろしくお願いたします。

【令和元年度 教育活動報告会】

○日時〈会場〉

3月 6日（金） 14:30～15:00 （1・2年生保護者会の前） 〈体育館〉

3月10日（火） 14:30～15:00 （5・6年生保護者会の前） 〈3階ランチルーム〉

3月12日（木） 14:30～15:00 （3・4年生・久我山学級保護者会の前）

〈3階ランチルーム〉

～2月行事予定～

～3月行事予定～

| 日 | 曜 | 行事等 | 授業時数 | | | | | | 校庭開放 |
|----|---|------------------------------------|------|---|---|---|---|---|------|
| | | | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ | ⑥ | |
| 1 | 土 | | | | | | | | |
| 2 | 日 | 杉並区連合作品展終 | | | | | | | C |
| 3 | 月 | | 5 | 5 | 5 | 5 | 6 | 6 | |
| 4 | 火 | 安全指導 久我山学級4時間授業 あいさつ運動(黄1緑1) SC | 5 | 5 | 6 | 6 | 6 | 6 | |
| 5 | 水 | 研究授業のため5-2のみ5時間授業 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | A |
| 6 | 木 | マラソン旬間始 | 5 | 6 | 6 | 6 | 6 | 6 | |
| 7 | 金 | 新1年生保護者会 あいさつ運動(赤2青2) | 4 | 5 | 5 | 6 | 6 | 6 | |
| 8 | 土 | | | | | | | | |
| 9 | 日 | | | | | | | | |
| 10 | 月 | 委員会 糸車出前授業① SC | 5 | 5 | 5 | 5 | 6 | 6 | |
| 11 | 火 | 建国記念の日 | | | | | | | C |
| 12 | 水 | 研究授業のため5-4のみ5時間授業 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | A |
| 13 | 木 | 特別時程 | 5 | 6 | 6 | 6 | 6 | 6 | |
| 14 | 金 | 遠足(久) | 5 | 5 | 5 | 6 | 6 | 6 | |
| 15 | 土 | | | | | | | | |
| 16 | 日 | | | | | | | | C |
| 17 | 月 | クラブ活動(9) 起震車体験② フロアボール交流会(久) | 5 | 5 | 5 | 6 | 6 | 6 | |
| 18 | 火 | 小中一貫の日 SC | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | |
| 19 | 水 | | 5 | 5 | 6 | 6 | 6 | 6 | B |
| 20 | 木 | | 5 | 6 | 6 | 6 | 6 | 6 | |
| 21 | 金 | 読み聞かせ①②③⑤(久) 扇作り⑤ | 5 | 5 | 5 | 6 | 6 | 6 | |
| 22 | 土 | 土曜授業 キャリア教育⑥ 学校運営協議会 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | |
| 23 | 日 | 天皇誕生日 | | | | | | | C |
| 24 | 月 | 振替休日 | | | | | | | C |
| 25 | 火 | 理科出前授業④ | 5 | 5 | 6 | 6 | 6 | 6 | |
| 26 | 水 | | 5 | 5 | 6 | 6 | 6 | 6 | B |
| 27 | 木 | 幼保小交流「ようこそ高小へ」① | 5 | 6 | 6 | 6 | 6 | 6 | |
| 28 | 金 | マラソン旬間終 | 5 | 5 | 5 | 6 | 6 | 6 | |
| 29 | 土 | | | | | | | | |

| 日 | 曜 | 行事等 | 授業 | | | | | | 校庭開放 |
|----|---|--------------------------------------|----|---|---|---|---|---|------|
| | | | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ | ⑥ | |
| 1 | 日 | | | | | | | | C |
| 2 | 月 | 委員会 | 5 | 5 | 5 | 5 | 6 | 6 | |
| 3 | 火 | 6年生を送る会 たてわりお別れ会食会 SC | 5 | 5 | 6 | 6 | 6 | 6 | |
| 4 | 水 | | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | B |
| 5 | 木 | 5・6年生スポーツ交流会⑤⑥ | 5 | 6 | 6 | 6 | 6 | 6 | |
| 6 | 金 | 教育活動報告会・保護者会(低) 5・6年生スポーツ交流会(予備日) | 5 | 5 | 5 | 6 | 6 | 6 | |
| 7 | 土 | | | | | | | | |
| 8 | 日 | | | | | | | | C |
| 9 | 月 | クラブ活動 | 5 | 5 | 5 | 6 | 6 | 6 | |
| 10 | 火 | 安全指導 SC 教育活動報告会・保護者会(高) | 5 | 5 | 6 | 6 | 5 | 5 | |
| 11 | 水 | | 5 | 5 | 6 | 6 | 6 | 6 | B |
| 12 | 木 | 卒業・進級を祝う会(久) 教育活動報告会・保護者会(中)(久) | 5 | 6 | 5 | 5 | 6 | 6 | |
| 13 | 金 | 卒業を祝う会⑥ 読み聞かせ①②④⑥ | 5 | 5 | 5 | 6 | 6 | 6 | |
| 14 | 土 | 土曜授業 ICT公開授業 はるかなコンサート(合唱団) | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | |
| 15 | 日 | | | | | | | | C |

＜教育活動報告会・保護者会のお知らせ＞

教育活動報告会を各学年の保護者会の前（14時30分～15時）に行います。ぜひご参加ください。
 教育活動報告会会場
 3月 6日（金）低学年・・・体育館
 3月10日（火）高学年・・・ランチルーム
 3月12日（木）中学年、久我山学級・・・ランチルーム
 ※教育活動報告会の後、15：00からの各学年の保護者会へのご移動ください。

たてわりお別れ会食会について 3月3日（火）

高小では、異学年交流の一つとしてたてわり活動があります。朝の時間を使い、6年生がリーダーとなって1年生から6年生までが楽しく遊べる遊びを企画・運営をしました。また、朝、赤門や青門に立って、あいさつ運動にも取り組んできました。
 3月3日は6年生からバトンを受け継いだ5年生が主体となり、「お別れ給食」とその後の「たてわり遊び」を企画・運営をします。1年生から5年生は、1年間まとめ役としてたてわり活動をリードしてきた6年生に感謝の気持ちを伝えられる集まりにしたいと思います。

2月の生活目標『健康で安全な生活をしよう』

大変寒い日が続いています。空気も乾燥してインフルエンザ等が流行する時期ですが、抵抗力を高め丈夫な体を作るためにも、寒さに負けず元気に遊んでほしいと思います。なわとびカードも配られました。体力向上も踏まえて、できるだけ遊び場所へ行くように声をかけていきます。また、風邪等にかからず健康に過ごせるよう、うがい・手洗い・換気を呼びかけています。ご家庭でも、うがい・手洗いが習慣付くように、お声かけをお願いします。

○の数字は学年、(久)は久我山学級を表します。
 SC・・・スクールカウンセラー来校日です。
 水曜日は原則、毎週特別時程です。
 P T A・地域行事等は斜体で表します。

校庭開放について

- 水曜特別時程4時間・・・13:30～16:00 (A)
- 水曜特別時程6時間・・・14:40～16:00 (B)
- 日曜日・祝日・・・13:00～16:00 (C)
- ※11月～2月までは16:00までです。
- 長期休業中・・・9:00～13:00 (D)

6年生を送る会

今まで学校の最高学年として頑張ってきた6年生に、在校生は感謝の気持ち、そして卒業を祝う気持ちを伝えます。この会を通して、6年生は入学してからの6年間を在校生とともに振り返り、卒業に向けて一歩踏み出します。